

*本リリースは、関係各者から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたいお願い申し上げます。

NEWS RELEASE



2025 年 1 月 14 日

岩手県

岩泉町

株式会社エアロネクスト

株式会社 NEXT DELIVERY

セイノーホールディングス株式会社

岩泉ホールディングス株式会社

岩泉自動車運輸株式会社

岩手県岩泉町でドローンを組み込んだ新スマート物流の体制構築に向け共同配送の実証実験を実施 ～岩泉町内に本社を構える 2 社と新スマート物流チームが連携して地域課題の解決に貢献～

岩手県（知事：達増 拓也）と、岩泉町（町長：中居 健一）、株式会社エアロネクスト（本社：東京都渋谷区、代表取締役 CEO：田路 圭輔、以下エアロネクスト）、株式会社 NEXT DELIVERY（本社：山梨県小菅村、代表取締役：田路 圭輔、以下 NEXT DELIVERY）、セイノーホールディングス株式会社（本社：岐阜県大垣市、代表取締役社長：田口 義隆、以下 セイノーHD）、岩泉ホールディングス株式会社（本社：岩手県下閉伊郡岩泉町、代表取締役社長：山下 欽也、以下 岩泉ホールディングス）、岩泉自動車運輸株式会社（本社：岩手県下閉伊郡岩泉町、代表取締役社長：八重樫 義一郎、以下岩泉自動車運輸）は、2025 年 1 月 9 日（木）に、岩泉町において 令和 6 年度岩手県岩泉町における地域課題の解決に貢献する新スマート物流の体制構築に向けた実証実験を実施し、報道関係者に公開しました。

具体的には、NEXT DELIVERY と 岩泉町に本社を構える岩泉ホールディングス、岩泉自動車運輸が連携して、セイノーHD とエアロネクストが開発推進するドローン配送と陸上輸送を融合した新スマート物流^{*1}“SkyHub”[®]*2 の社会実装の検討に向けて行われたものです。



写真向かって左よりセイノーHD 事業推進部ラストワンマイル推進チーム新スマート物流推進プロジェクト課長 和田悟、岩泉ホールディングス常務取締役 佐々木康幸、岩泉町役場政策推進課長 佐々木真、岩手県科学・情報政策室室長 小笠原徳、エアロネクスト代表取締役 CEO/NEXT DELIVERY 代表取締役 田路圭輔、岩泉自動車運輸 代表取締役 八重樫義一郎



物流専用ドローン“AirTruck”に岩泉ヨーグルトや日本酒を入れた専用箱を搭載
(旧安家小学校)



荷物を置き配して飛び去る物流専用ドローン“AirTruck”
(松ヶ沢公民館)

【実証実験概要】

1. 背景と目的

岩泉町は総人口 8,013 人（令和 6 年 1 月末現在）、面積は 99.23ha と本州一の広さの町であり、狭隘な山間地に基幹地区（昭和 31 年 6 町村合併前の旧村中心部）と小規模集落が点在しており、食料品アクセス困難人口の割合（2015 年時点）が県内で唯一 40%を超えており、全国的に見ても非常に高い水準（全国平均 24.6%）となっております。

町の中心部である岩泉地区から主な基幹地区のうち、安家地区（人口 412 人、235 世帯）までは急勾配が続き、車で 40 分（21.5km）、有芸地区（人口 155 人、89 世帯）までは狭隘な道を車で 35 分

*本リリースは、関係各者から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたいお願い申し上げます。

NEWS RELEASE

(18.4km) かかるなど、買い物等の日常サービスの利用に不便が生じていることが課題となっております。

このような背景を受け、共同配送や買い物弱者対策による日常生活の利便性の確保、岩手県産業の生産性向上等に資する陸送×空送のハイブリッド輸送を検討し、持続可能な活力ある地域の実現を目指し、地域住民の理解度向上に資する実証実験を実施いたします。

2. 実施内容

ドローンや共同配送管理システムなどのデジタル技術を活用した買い物弱者対策による日常生活の利便性の確保、岩手県産業の生産性向上等に資する取組を検討するとともに、社会実装モデルの体制構築に向けた実証実験を行い、買い物に関する課題と災害時の物資輸送に関する課題の解決に繋がるドローン配送の社会実装に向けた検証を行いました。

旧安家小学校まで届けられた岩泉ホールディングスの「岩泉ヨーグルト」と岩泉自動車運輸の宅配荷物（実証実験用）を混載して NEXT DELIVERY の運航するエアロネクストが開発した物流専用ドローン AirTruck^{*3} に搭載し、松ケ沢公民館まで片道約 4.2 kmを約 10 分でドローン配送しました。残りの荷物は陸送で配送場所までお届けしました。

ドローン配送で岩泉ヨーグルトや日本酒を受け取った中山さんは、「2016 年の台風 10 号の時には半月ほど市街地と行き来ができないときがあった。こういうサービスがあると助かると思う」とコメントしています。

今後も地域住民への理解促進及び地域課題の解決へ向けドローンをはじめとする次世代高度技術を活用しドローン配送と陸上配送を融合した新スマート物流“SkyHub[®]”の社会実装に向けた検討を進めてまいります。

※本実証実験は「令和 6 年度岩手県中山間地域におけるスマート物流等の社会実装に向けた運用体制整備・実証実験等業務」として採択されています。



安家地区の事業者へのドローン配送で
岩泉自動車運輸と連携



ドローン配送された岩泉ヨーグルトと
日本酒を受け取る中山さん
(松ケ沢公民館)

以上

【ニュースリリースへの報道機関からのお問い合わせ】

岩手県ふるさと振興部 科学・情報政策室 科学技術担当（担当：小野寺）

Tel 019-629-5252 (内線 5252) Email: kento-o@pref.iwate.jp

岩泉町 政策推進課政策推進室（担当：加藤）

TEL 0194-22-2111(内線 405) Email: s.kato@town.iwaizumi.lg.jp

株式会社エアロネクスト/株式会社 NEXT DELIVERY 広報部（担当：伊東）

Tel: 03- 6455-0626 Email: info@aeronext.com

セイノーホールディングス株式会社 ラストワンマイル推進チーム（担当：須貝）

Tel: 03-4363-4590 Email: esugai@slo-seino.jp

岩泉ホールディングス株式会社 産業開発事業部（担当：佐々木）

[Tel:0194-32-3008](tel:0194-32-3008) Email: sasaki@iwaizumilk.co.jp

岩泉自動車運輸株式会社 社長室（担当：川村）

[Tel:0194-22-2365](tel:0194-22-2365) Email: iwz-kawamura@grace.ocn.ne.jp

資料

*1 新スマート物流

物流業界が共通に抱える人手不足、環境・エネルギー問題、DX 化対応、等の課題を、デジタルやテクノロジーを活用しながら解を探究し、人々の生活に欠かせない生活基盤である物流を将来にわたって持続可能にするための官民での取り組み。ラストワンマイルの共同配送、陸送・空送のベストミックス、貨客混載、自動

*本リリースは、関係各者から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたくお願い申し上げます。

NEWS RELEASE

化技術、等々、業界内外の壁を越えたオープンパブリックプラットフォーム（O.P.P.）による共創で実現を目指す。

*2 新スマート物流 SkyHub®

エアロネクストとセイノーHDが共同で開発し展開する、既存の陸上輸送とドローン物流を繋ぎこみ、地上と空のインフラが接続されることで、いつでもどこでもモノが届く新スマート物流のしくみ。ドローン配送が組み込まれた、オープンかつ標準化したプラットフォームで、ドローンデポ®を拠点に、車とドローンを配送手段として、SkyHub®TMSをベースに、SkyHub®Delivery（買物代行）、SkyHub®Eats（フードデリバリー）、SkyHub®Medical（医薬品配送）、異なる物流会社の荷物を一括して配送する共同配送など、地域の課題やニーズに合わせたサービスを展開、提供する。

SkyHub®の導入は、無人化、無在庫化を促進し、ラストワンマイルの配送効率の改善という物流面でのメリットだけでなく、新たな物流インフラの導入であり、物流 2024 年問題に直面する物流業界において、物流改革という側面から人口減少、少子高齢化による労働者不足、特定過疎地の交通問題、医療問題、災害対策、物流弱者対策等、地域における社会課題の解決に貢献するとともに、住民の利便性や生活クオリティの向上による住民やコミュニティの満足度を引き上げることが可能になり、地域活性化を推進するうえでも有意義なものといえる。

*3 物流専用ドローン AirTruck

次世代ドローンのテクノロジースタートアップ、株式会社エアロネクストが ACSL と共同開発した日本発の量産型物流専用ドローン。エアロネクスト独自の機体構造設計技術 4D GRAVITY®*4 により安定飛行を実現。荷物を機体の理想重心付近に最適配置し、荷物水平と上入れ下置き機構で、物流に最適なユーザビリティ、一方向前進特化・長距離飛行に必要な空力特性を備えた物流用途に特化し開発した「より速く より遠く より安定した」物流専用機です。日本では各地の実証地域や実証実験で飛行しトップクラスの飛行実績をもち、海外ではモンゴルで標高 1300m、外気温 -15℃という環境下の飛行実績をもつ（2023 年 11 月）。最大飛行距離 20km、ペイロード（最大可搬重量）5kg。

*4 機体構造設計技術 4D GRAVITY®

飛行中の姿勢、状態、動作によらないモーターの回転数の均一化や機体の形状・構造に基づく揚力・抗力・機体重心のコントロールなどにより空力特性を最適化することで、安定性・効率性・機動性といった産業用ドローンの基本性能や物流専用ドローンの運搬性能を向上させるエアロネクストが開発した機体構造設計技術。エアロネクストは、この技術の特許化し 4D GRAVITY®特許ポートフォリオとして管理している。4D GRAVITY®による基本性能の向上により産業用ドローンの新たな市場、用途での利活用の可能性も広がる。

【岩手県とは】

岩手県は人口 1,144,407 人（令和 6 年 10 月 1 日時点）、本州の北東部に位置し、東西約 122 キロメートル、南北約 189 キロメートルと南北に長い楕円の形をしています。その広さは北海道に次ぐ面積で 15,275.01 km²あり、日本面積の 4%を占めています。

海と山に囲まれた雄大な自然と 3 つの世界遺産「平泉」、「橋野鉄鉱山」、「御所野遺跡」に代表される歴史的・文化的魅力に加え、山海の幸にも恵まれた食文化など多彩な魅力ある県です。

東日本大震災津波や平成 28 年台風第 10 号などの自然災害を乗り越え、復興を着実に進めています。「いわて県民計画（2019～2028）」に掲げる取組を推進し、「お互いに幸福を守り育てる希望郷いわて」の実現を目指しています。

【岩泉町とは】

岩手県の県都盛岡市の北東に位置する緑濃い山々に囲まれた山間地域と、美しい海に面する沿岸地域からなる本州一広い町です。町内には日本三大鍾乳洞のひとつ「龍泉洞」があり、その地底湖の水は世界でも有数の透明度を誇り、町の総面積の約 92%を占める森林が生み出す清らかな空気に包まれる、水と緑の豊かな町です。平成 23 年の東日本大震災、平成 28 年の台風第 10 号豪雨災害と 2 度の大きな自然災害に見舞われ、これまで思い描いていた将来像からの見直しが必要になりながらも、復旧・復興に向かって、町民が一丸となって歩みを進めている町でもあります。

*詳細は <https://www.town.iwaizumi.lg.jp/top.html> をご覧下さい。

【株式会社エアロネクストとは】

IP 経営を実践する次世代ドローンの研究開発型テクノロジースタートアップ、エアロネクストは、「新しい空域の経済化」をビジョンに、空が社会インフラとなり、経済化されて、ドローンで社会課題を解決する世界を生み出すために、産業用ドローンの技術開発と特許化、ライセンスビジネスを行っています。コアテクノロジーは、重心、空力特性を最適化することで、安定性・効率性・機動性といった産業用ドローンの基本性能や物流専用ドローンの運搬性能を向上させる、独自の構造設計技術 4D GRAVITY®。この 4D GRAVITY®を産業用ドローンに標準搭載するため強固な特許ポートフォリオを構築し、4D GRAVITY®ライセンスに基づくパートナーシップ型のプラットフォームビジネスをグローバルに展開しています。また、ド

*本リリースは、関係各者から配信されています。重複の場合はご容赦頂きたいお願い申し上げます。

NEWS RELEASE

ローンを活用した新スマート物流 SkyHub®の実現のために戦略子会社 NEXT DELIVERY を設立し、ドローン配送サービスの社会実装、事業化にも主体的に取り組んでいます。

*会社概要は <https://aeronext.co.jp/about/company/> をご覧ください。

【株式会社 NEXT DELIVERY とは】

エアロネクストグループのミッション「人生 100 年時代の新しい社会インフラで、豊かさが隅々まで行き渡る世界へ」に基づき、2021 年に山梨県小菅村に設立されたドローン配送を主事業とするエアロネクストの戦略子会社。エアロネクストとセイノーHD が共同で開発し展開する、既存物流とドローン物流を繋ぎこんだ新しい社会インフラとなる新スマート物流の仕組み SkyHub®の企画運営、全国展開を推進しており、共同配送とドローン配送に関わるハード及びソフトウェアの開発、販売、運用及び保守事業等の周辺事業も展開しています。山梨県小菅村を皮切りに、北海道上士幌町、福井県敦賀市等、全国各地で地域物流の効率化と地域社会の課題解決に取り組んでいます。

*会社概要は <https://aeronext.co.jp/about/company/> をご覧ください。

【セイノーホールディングス株式会社とは】

セイノーホールディングスは、物流を中心軸として、金融、人材、調達など物流周辺領域までワンストップで価値を提供しています。私たちは、お客様の繁栄に貢献するため、物流を超えて心をつなぎ、すべての人に笑顔と幸せをお届けする企業集団を目指しています。現在「Team Green Logistics」をスローガンに、業界や企業の垣根を超えたオープン・パブリック・プラットフォーム（O.P.P.）の展開を全体戦略として、日本が直面している少子高齢化・環境問題などの社会課題の解決に向け、持続可能な物流ネットワークの最適化を実現する「Green 物流」の共創に挑戦しています。ラストワンマイル領域においては、社会全体の生活様式や構造の変化に伴って、買い物弱者や貧困家庭への対策として「社会課題解決型ラストワンマイル O.P.P.」の構築を積極的に推進しています。

*オープン・パブリック・プラットフォーム（O.P.P.）

社内外、業種の違い等を問わず連携した（オープン）、誰もが使える（パブリック）物流プラットフォームを構築し、プラットフォーム利用者それぞれの効率化や価値向上、さらにはインフラとして産業・生活への貢献を実現する構想

*会社概要は <https://www.seino.co.jp/seino/shd/overall-condition/> をご覧ください。

【岩泉ホールディングス株式会社】

「岩泉の魅力を、世界に届けるため、常にパイオニアであり続けたい」

岩泉ホールディングス株式会社は、2019 年に岩泉ホールディングス株式会社、岩泉乳業株式会社、株式会社岩泉産業開発の 3 社統合によって誕生した第三セクターの企業で、岩泉ヨーグルト、龍泉洞の水、龍泉洞のスキンケアシリーズ、イタリアンジェラートカフェ ViTO×IWAIZUMI など、岩泉町の豊かな自然の中で生み出される生乳や水などの地域資源を活用した商品開発を行い、地域の魅力を全国に発信しております。

*会社概要は <https://company.iwaizumilk.co.jp/> をご覧ください。

【岩泉自動車運輸株式会社】

岩泉自動車運輸株式会社は、1940 年の設立以来、岩手県岩泉町を拠点に一般貨物輸送、特積み輸送、郵便輸送、バス、タクシー事業と幅広い分野で展開してまいりました。創業時には、県内でもいち早くトラックを導入し、牛での輸送からトラック輸送への革新を実現し、地域に根ざした輸送サービスを提供してまいりました。私たちの行うことは、たった一個の荷物や一人のお客様を運ぶ行為かもしれませんが、その中には計り知れない多くの人々の思いが込められています。日常の小さな行為が積み重なり、大きな価値を生み出すことを信じています。それが「一燈照隅」という理念のもと、小さな光が集まって大きな光となるように、私たち一人ひとりの努力が社会にとって大きな意義を持つと信じています。

*会社概要は <https://www.senkin-144.jp/pages/65/> をご覧ください。

*エアロネクストおよびエアロネクストのロゴ、NEXT DELIVERY、並びに「4D GRAVITY (R)」「SkyHub (R)」は、株式会社エアロネクストの商標です。

*その他、このプレスリリースに記載されている会社名および製品・サービス名は、各社の登録商標または商標です。